

「共同体」における（法）制度化
篠原初枝

7・12・08

1) 問題設定

「主権国家から構成される（地域）共同体の成熟度・進化度は何ではかれるか」

cf. 国際システム、国際社会（Bull）

3要件：

- ① 交流・協力の実相—政治、経済、社会、文化
- ② 認識・価値—国家からヒトへ
- ③ 制度化—安定性、継続性、拘束性

但し、問題点として

- 1. この三者の関係性をどのように規定するか
- 2. 「内」と「外」の差別化をどのように考えるか

cf. ヨーロッパにおける法制度化

ECSC、EC法、欧州司法裁判所—地域統合に関して生じる紛争の処理

2) 東アジアにおける法制度化

legalization：諸国家の関係がいかに rule-base で統制されているか
（個々の条約や取り決めによって異なる）

① ASEAN—ソフトな制度化(low-legalization)

通常の「国際組織」ではない

合意・宣言の積み上げから協力へ

「制度化された継続的会議外交」

しかし多国間組織としての意義

② 最近の high-legalization（法制度化）への傾向

1. WTO の紛争処理メカニズム

2. FTA： rule 形成からすると締約国によってその内容に差異
政治的意図、competitive regionalism

2 国間協定がネットワークへ収斂するかはわからない

多国間 low-legalization vs. 2 国間 high-legalization

「制度設計の基本哲学に本質的相違」

今後の展望—low-legalization の実相

あるいは、地域共同体論

参考文献

- ・ Miles Kahler, “Legalization as Strategy: The Asia-Pacific Case,” Judith L. Goldstein, Miles Kahler, Robert O. Keohane and Anne-Marie Slaughter, eds., *Legalization and World Politics* (Cambridge MA: MIT Press, 2001).
- ・ Junji Nakagawa, “Competitive Regionalism in East Asia: Legal Context”, paper presented at the Symposium on “Competitive Regionalism”, held at Waseda University, May 30, 2007.
- ・ Gregory W. Noble, “Japanese and American Perspective on East Asia Regionalism,” *International Relations of the Asia-Pacific*, Vol. 8, No.2 (2008).
- ・ Chang-fa Lo, “Factors Affecting Asian FTA Practices: An Approach to Surmount Difficulties,” 『国際法外交雑誌』 105 卷 3 号 (2006 年)。
- ・ 山影進「アジア太平洋経済協力の制度化にみられる特徴—ASEAN と APEC の組織原理と運営原則を中心に」『世界法年報』第 16 号 (1997 年 3 月)。
- ・ 須網隆夫「東アジアにおける地域経済統合と法制度化」『日本国際経済法学会年報』第 13 号 (2004 年)。
- ・ 渡邊頼純「自由貿易協定 (FTA) への展望—多国間主義と地域主義との法的関係を中心に—」『日本国際経済法学会年報』第 10 号 (2001 年)